

# 学習実践内容報告書

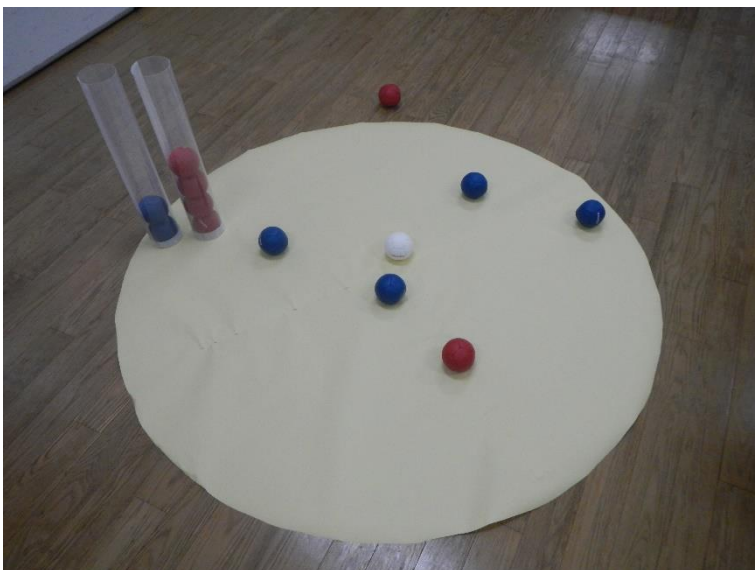
教材名	信号マッチング
ねらい	・信号機に興味関心を持たせる。 ・青は進め、赤は止まれのルールを意識させる。 ・校外歩行などで意識できるようにする。
<p><b>【教材】</b>・キーノート(iPad)</p> <p><b>【手順】</b>キーノートの準備、操作。</p> <p>①準備:横断歩道と信号カードを配置</p>  <p>②準備:画像にリンク設定を行いリンク先を次のスライドにする。</p>  <p>③準備:次のスライドには正解のモーション設定と自動で次のページ(次の問題)に行くように設定。</p>  <p>④準備:設定からプレゼンテーションタイプをリンクのみにしておく。</p>  <p>⑤操作:正解をタッチすると信号カードが動いて丸が出る。 (正解以外はリンクを設定しなければタッチしても動かない)</p>  <p><b>【指導経過】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・はじめは間違えることがあったが反応がないので違うカードをタッチして正解にたどり着いた。</li><li>・何度か繰り返していくうちに間違えずに正解できるようになった。</li></ul> <p><b>【今後の指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・横断歩道の写真を校外歩行で通る道の写真にしたり、校外歩行の時に信号機を見ながら信号ガードを提示したりして理解を深めたい。</li></ul>	

# 学習実践内容報告書

教材名	ポッチャでたのしもう(クラス課題)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポッチャのルールを知り、ゲームに楽しく参加することができる。</li><li>・ゴールゾーンやジャックボールをねらって投げることができる。</li><li>・どちらが多いか、赤と青のボールの数を比べることができる。</li><li>・対戦型のゲームに慣れ、勝ち負けを受け入れることができる。</li></ul>

## <教材について>

- ・ねらう的が明確になるよう、模造紙で円形のゴールゾーンを作り、その上にジャックボールを置くようにした。
- ・ジャックボールまでの距離ではなく、ゴールゾーンの中に入ったボールの数を得点とすることにし、得点で勝敗を決めるルールにした。
- ・透明筒にボールを入れ、数や量を直接比較できるようにした。
- ・透明筒は、ポリプロピレンの透明シート(PP クラフトシート)をボールの大きさに合わせて切り、ポリプロピレン用の両面テープで接着して作成した。



## <実践してみて…>

- ・はじめは3球ずつからトライした。1球ずつ交代で投球するよう支援した。
- ・ゴールゾーンは滑ったり破けたりするので、上に乗らないよう確認が必要である。
- ・見た目直接比較しやすいよう、筒を横に並べて比べさせた。
- ・負けを受け入れたくないという児童の反応も見られた。友達との対戦で勝敗が決まり、その結果を受け入れることもゲームを楽しむためには必要であることを知る、ひとつの経験の場となった。